

豪雨	事務事業名	令和6年奥能登豪雨支援事業(置き畳)	会計区分		一般会計			
			款項目コード(款-項-目)		05 — 01 — 02			
			所属課名		農業振興課			
主要な施策の成果(決算審査における主要施策) (単位:千円)								
事務事業の概要 令和6年9月21日～23日にかけての豪雨により能登半島(奥能登)に再び甚大な被害が発生し、石川県珠洲市より置き畳の支援の要請があったことから、再度氷川町と連携し、八代地域農業協同組合の協力のもと、置き畳約1,000枚の支援を行う。 (参考)八代市及び氷川町の支援枚数 八代市 648枚 氷川町 360枚 合計 1,008枚								
	令和6年度予算額	令和6年度決算額	左の財源				翌年度への繰越額	不用額
			国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
	7,000	6,862	0	0	0	6,862	0	138
<主要な施策の概要>			<財源内訳>					
旅費				163				
置き畳購入費				6,297				
畳表購入	594							
置き畳購入	5,703							
運搬料				384				
レンタカー燃料費				2				
レンタカー借上料				16				
今後の方向性 (該当欄を選択)	1 不要(廃止) ● 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、改革改善の取組等	令和6年11月に珠洲市に置き畳を配付し、事業を完了している。							

豪雨	事務事業名	令和6年能登半島地震支援事業(置き畳)	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05 — 01 — 02				
			所屬課名		農業振興課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策) (単位:千円)									
事務事業の概要 令和6年能登半島地震によって被害に遭われた方が、避難所や仮設住宅で少しでも安心して過ごしていただくため、氷川町と連携し、また、八代地域農業協同組合の協力により、八代産いぐさ畳表を活用した置き畳を提供するもの。 (枚数(半畳)) 八代市 3,600枚、氷川町 1,800枚、計 5,400枚 (提供先)石川県珠洲市、羽咋市、七尾市、輪島市、志賀町、穴水町、能登町									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源		翌年度への繰越額	不用額		
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
1,691		1,475		0	0	0	1,475	0	216
<主要な施策の概要>					<財源内訳>				
【繰越分】									
旅費					589				
運搬料					72				
レンタカー燃料費					49				
レンタカー借上料					211				
倉庫借上料					550				
出庫手数料					4				
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) ● 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		置き畳は令和5年度に作成。令和6年6月に被災地の仮設住宅等への配布を行い、事業を完了している。							

豪雨	事務事業名	い業振興対策事業	会計区分		一般会計					
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03	
			所属課名		農業振興課					
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)		
事務事業の概要										
置表張替え促進事業補助金、い業機械再生支援事業補助金、いぐさ・置表活性化連絡協議会負担金 他										
①置表張替え促進事業 市内在住者等が行う、八代産置表の張替えに対し助成を行うもの。助成額:1畳当り1千円(上限:一般住宅 16千円、観光関連施設 110千円)										
②い業機械再生支援事業 市内在住のいぐさ置表生産者等が使用する専用機械の修理・再生に要する費用に対し助成を行うもの。助成額:事業費の1/2(上限額:ハーベスタ、織機、移植機、乾燥機 20万円、その他専用機械 10万円)										
③熊本県いぐさ・置表活性化連絡協議会負担金										
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額		
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
40,013		29,338		0	0	11,151	18,187	0	10,675	
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞					
会計年度任用職員 報酬等					2,820	○その他特定財源				
政府予算要望旅費					231	ふるさと八代元気づくり応援基金繰入金			11,099	
いぐさ・置表活性化連絡協議会負担金					1,401	農林水産業費寄附金			52	
置表張替え促進事業補助金(336件 3,694枚)					3,694					
市有施設置表張替(5施設 125畳)					1,006					
い業機械再生支援事業補助金(145件)					20,186					
(主な内訳)										
ハーベスタ 101件 14,871										
苗掘取機 16件 1,535										
織機 11件 2,010										
選別機 7件 700										
移植機 3件 409										
等										
【ふるさと八代元気づくり応援基金対応分】					11,099					
(再掲)市有施設置表張替(基金充当)					1,006					
(再掲)い業機械再生支援事業補助金(基金充当)					10,093					
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)								
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		【置表張替え促進事業】地産地消の観点から有効であり、QRコードタグの挿入率も80%を超え挿入率の向上に寄与している。また、令和6年度から、観光客等が訪れる観光関連施設を追加している。 【い業機械再生支援事業】い業専用機械は生産を終了しているものも多く、生産者はオーバーホールや修繕による機械の延命を強いられている。機械修理には多額の経費がかかることから、本事業の活用により半数を超える生産者の機械の長寿命化が図られており、生産者の経営維持に寄与している。また、R6年度より、ハーベスタ、乾燥機、移植機、織機の4機種について、上限を20万円に拡充している。(予算額17,600千円→30,000千円) 【いぐさ・置表活性化連絡協議会】熊本秋酒まつりでの100畳の置設置やイベントでの県産いぐさ置表PR、福岡県置表高等職業訓練校で開催した将来置店になる生徒に向けた産地研修など、多岐に渡り事業を行い、い草生産振興や需要拡大に寄与している。これらの事業は産地の維持に必要な事業であり、今後も継続する必要がある。								

豪雨	事務事業名	八代市農地集積対策事業	会計区分		一般会計						
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03		
			所属課名		農林水産政策課						
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)									(単位:千円)		
事務事業の概要											
申請された年度の前々年度の4月1日以降に、農地の規模を0.5ha(中山間地域は0.2ha)以上拡大を行った農業者が、その拡大した農地に必要な機械の導入経費にに対し補助するもの。											
補助率:1/2以内											
上限額:(1)平野地域 規模拡大面積が0.5ha以上1ha未満 500千円											
上限額:(2)平野地域 規模拡大面積が1ha以上 1,000千円											
上限額:(3)中山間地域 規模拡大面積が0.2ha以上 1,000千円											
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額		不用額		
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
15,000		15,000		50	0	0	14,950		0		
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞						
農地集積者支援事業 (17件、19.1ha)					15,000	○県支出金					
						農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく事務				50	
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 4 市による実施(規模縮小)								2 完了(終了) ● 5 市による実施(現行どおり)	3 民間実施 6 市による実施(規模拡充)
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		令和6年度末における本市の「担い手への農地集積率」は、78.1%となっており、国が目標としている80%に届いていない状況である。このことから、当該事業の実施等による目標達成に向けた取組を推進する必要があることから、今後も現行どおり事業を実施していく。									

豪雨	事務事業名	営農支援事業	会計区分		一般会計						
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03		
			所属課名		農林水産政策課						
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)			
事務事業の概要											
就農直後の新規就農者をはじめ、経営課題を抱える農業者への指導、支援を行う。具体的には、営農支援員2人を配置し、就農希望者、新規就農者(概ね就農5年以下)、認定農業者等への相談業務・支援業務を行う。特に、就農開始から2年以下の新規就農者へは、訪問の頻度を増やし、きめ細かくフォローすることで、就農継続の支援を実施するとともに、就農開始5年目以降の離農率ゼロを目指す。											
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額	
				国県支出金		地方債		その他特定財源		一般財源	
7,023		3,797		1,500		0		0		2,297	
										0	
										3,226	
<主要な施策の概要>						<財源内訳>					
会計年度任用職員 報酬等						3,529 ○県支出金					
報償費 (委員等謝礼)						30 農業次世代人材投資事業補助金 (定額)					
需用費 (事務用品、雑誌購読料、ガソリン代、公用車等修理代)						238 新規就農者育成総合対策事業補助金 (定額)					
						839					
						661					
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)									
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		本事業の就農相談及び営農支援件数は、過去3年間で、640件、1,439件、791件と推移している。令和5年度の件数増加については、新型コロナウイルスが5類となり巡回及び相談者の活動が活発になったことが要因であるが、令和6年度については、営農支援員が1名体制であったことから、訪問頻度に影響があった。 本年度については、職員(再任用)1名が増となり、営農支援員としての担務を担っているが、将来的には営農支援員の増員を検討する。									

豪雨	事務事業名	フードバレー流通推進事業(地方創生)	会計区分		一般会計						
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01 — 03				
			所属課名		フードバレー推進課						
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)			
事務事業の概要											
国内販路拡大アドバイザーと連携し、食品製造メーカーやバイヤーへ本市農林水産物や加工品を提案し、国内での販路開拓・販路拡大を図る。											
①国内販路拡大アドバイザーの設置											
②サンプル発送業務											
③バイヤー招聘事業(海外に販路のあるシェフなどとの商談会)											
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額	
				国庫支出金		地方債		その他特定財源		一般財源	
6,195		6,050		1,760		0		0		4,290	
								0		145	
<主要な施策の概要>						<財源内訳>					
国内販路拡大アドバイザー委託 (1人 実績：企業訪問件数79件)						○国庫支出金					
サンプル発送業務委託 (件数：62件、品目：198件、発送：44件)						デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進）（1/2）					
海外に販路のあるシェフなどとの商談会 (実績：シェフ17人参加 市内事業者8社参加)						1,760					
旅費											
その他（ガソリン代等）											
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)									
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		国内販路拡大アドバイザーと連携し、県内外に本市産品の販路拡大のための企業訪問を実施することで、新規成約に繋がった。過去3過年の新規成約件数推移は令和4年度49件、令和5年度101件、令和6年度27件となっている。 今後も継続取引や新規成約に向けて国内販路拡大アドバイザーとも連携し、企業訪問を継続するとともに、農林水産物の一次加工による納品について食関連企業からの要望が多いことから、加工事業者と生産者のマッチングにも取り組む。 また、令和6年度は新たな取組みとして、八代港に寄港する外国クルーズ船シェフ向けの商談会を開催。今後も、インバウンド向けの方策として、寄港の増加しているクルーズ船の訪日外国人旅行者に対し、地域の食の魅力を発信する取組みを実施する。									

海南	事務事業名	フードバレー輸出促進事業(地方創生)	会計区分		一般会計							
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03			
			所属課名		フードバレー推進課							
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)				
事務事業の概要												
海外販路拡大アドバイザーと連携し、親日である台湾や貿易障壁の少ない香港・シンガポールでのフェア開催や見本市出展等を中心とした活動を通して、市内の事業者の海外展開、販路開拓・販路拡大の取組みを支援することで、農林水産物をはじめとした八代産品の輸出拡大を図る。												
①海外販路拡大アドバイザーの設置⑥香港での晩白柚プロモーション												
②「くまもと県南フードバレーフェアIN台湾基隆市」開催⑦くまもとうまかもん輸出協議会負担金												
③輸出相手国ニーズ調査(海外バイヤー商談会、セミナー開催)⑧八代港農林水産物リーファーコンテナ助成金												
④八代産品テストマーケティング(シンガポール市場)実施												
⑤シンガポール向けデジタルセールス事業実施												
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額		
				国庫支出金		地方債		その他特定財源		一般財源		
19,439		17,227		7,796		0		0		9,431		
										0		
										2,212		
<主要な施策の概要>						<財源内訳>						
旅費						1,493 ○国庫支出金						
海外販路拡大アドバイザー委託						1,805 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進）（1/2）						
（1人 実績：企業訪問件数81件）						7,796						
くまもと県南フードバレーフェアIN台湾基隆市						8,041						
（出展事業者：9事業者）												
貿易実務業務委託（くまもと県南フードバレーフェア輸出支援）						561						
輸出相手国ニーズ調査業務委託						1,499						
（商談会：市内13事業者参加、セミナー開催：1回）												
八代産品テストマーケティング支援事業業務委託						1,800						
（参加事業者：2社 品目数：14商品）												
シンガポール向けデジタルセールス事業業務委託						300						
（参加事業者：7社 品目数：42商品）												
熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金						1,216						
香港 晩白柚フェア開催（R7.1.16～1.28）												
くまもとうまかもん輸出協議会負担金						412						
八代港農林水産物リーファーコンテナ助成金（1件）						100						
今後の方向性		1 不要(廃止)		2 完了(終了)		3 民間実施						
(該当欄を選択)		4 市による実施(規模縮小)		● 5 市による実施(現行どおり)		6 市による実施(規模拡充)						
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		令和3年度より地方創生推進交付金を活用し、海外販路拡大アドバイザーと連携し、市内事業者に対する輸出支援を実施してきた。これまで台湾や香港を中心にプロモーション活動を実施していたが、令和6年度より新たな海外市場への販路開拓・販路拡大を目的として、新市場としてシンガポールを対象にテストマーケティング等を実施。今後は、台湾、香港での事業に加え、シンガポールにおいて本格的な輸出に向けて現地の小売店や飲食店に対し、テスト販売やPR活動を実施するなど各種事業に取組む。各種事業に加え、意欲のある事業者の輸出に向けた取組みを支援する為の事業を展開する。										

豪雨	事務事業名	フードバレー6次産業化等推進事業(地方創生)	会計区分		一般会計					
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03	
			所屬課名		フードバレー推進課					
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)									(単位:千円)	
事務事業の概要										
八代市商品開発アドバイザーを核とした「6次産業化・農商工連携による新商品開発支援」や「地域内特産物の高付加価値化支援」等に取り組むことにより、生産者や食品製造・販売事業者の所得向上を図る。また、くまもと県南フードバレー推進協議会や県南自治体などの関係機関と連携を図りながら、食関連事業者への支援や八代産品の認知度向上を図る。										
①商品開発アドバイザーの設置										
②くまもと県南フードバレー推進協議会負担金										
③トマトフェスタ開催補助金										
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額
				国庫支出金		地方債		その他特定財源		一般財源
6,397		6,397		828		0		0		5,569
								0		0
＜主要な施策の概要＞						＜財源内訳＞				
商品開発・経営支援アドバイザー委託						○国庫支出金				
企業訪問件数 101回						デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進）（1/2）				
くまもと県南フードバレー推進協議会負担金						828				
トマトフェスタ開催補助金										
トマト料理スタンブラリー開催（R6.12/8～R7.3/3）										
スリーデーマーチ出展（R7.2/28～3/2）										
トマト・ミニトマトの配布、振る舞い鍋等										
今後の方向性 （該当欄を選択）		1 不要(廃止)								

豪雨	事務事業名	収穫体験事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03
			所属課名		フードバレー推進課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
本市で生産される豊かな農林水産物を観光素材と捉え、収穫体験等を顧客へ提供する仕組みを整備することで、地域に賑わいをもたらすとともに、市内農林水産事業者等の活発な事業展開を促す。 専門的知識をもつ収穫体験コーディネーターによる、実施事業者向けのセミナーの開催や、事業者個別訪問、モニターツアーなどを実施し、事業者への助言や支援を行うとともに、商品化に向けた磨き上げを行う。									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額	
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
1,000		707		0	0	707	0	0	293
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞				
【ふるさと八代元気づくり応援基金】 353					○その他特定財源				
【平成28年熊本地震復興基金対応分】 354					ふるさと八代元気づくり応援基金繰入金 353				
収穫体験事業に関するコーディネーター業務委託 500					平成28年熊本地震復興基金繰入金 354				
スタートアップセミナー開催 1回									
事業者個別訪問 9事業者									
モニターツアー開催 1回									
報告会 1回									
八代市収穫体験等事業補助金 207									
申請件数：5件（案内看板やのぼり旗作成、収穫用のハサミ購入等）									
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		過去3か年の収穫体験利用者は242人(R4年度)、201人(R5年度)、352人(R6年度)と順調に推移している。 今後も、専門家による収穫体験事業コーディネーター業務(スタートアップセミナー、事業者戸別訪問、モニターツアー等)や、収穫体験を実施するにあたっての必要経費に対し、支援を行うことにより、新規事業者の育成や自走化を推進していく。							

豪雨	事務事業名	八代産量表認知向上・需要拡大推進事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03
			所属課名		フードバレー推進課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
置関連事業者らと設立した協議会にて八代産量表の認知向上・需要拡大のためのPR事業を実施していくと共に企業等への事業協力の働きかけを行う。 官民が一体となり設立した「八代産量表認知向上・需要拡大推進協議会」が実施する八代産量表の認知度向上・需要拡大のためのPR事業が円滑に展開するよう支援を行う。									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
15,000		13,770		0	0	10,180	3,590	0	1,230
＜主要な施策の概要＞						＜財源内訳＞			
八代産量表認知向上・需要拡大推進協議会負担金 量スピーカー「TTM-V20」販売開始に伴うPR活動実施 (各種メディアでのPR、イベントでの展示) 企業とコラボしたPR活動実施 (「TTM-V20」プレス向け体験会、呼吸の間イベント開催) 【ふるさと八代応援基金対応分】 7,180 (再掲) 八代産量表認知向上・需要拡大推進協議会負担金 (基金充当) 7,180						13,770 ○その他特定財源 企業版ふるさと納税寄附金 3,000 ふるさと八代元気づくり応援基金繰入金 7,180			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 4 市による実施(規模縮小) 2 完了(終了) ● 5 市による実施(現行どおり) 3 民間実施 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		八代産量表認知向上・需要拡大推進協議会が実施するPR事業等が円滑に展開できよう事務局としてサポートを行う。 TTM-V20(量スピーカー)の一般発売に伴い、これまで実施してきた「八代産量表のPR」に加え、「販売促進」にも重きを置き展示会、商談会に出展し販路拡大を図るとともに、協議会ホームページ等を活用した情報発信を行う。 また、ハウスメーカー等に対し、和の空間として採用されるよう、建築士等に対するPR活動を実施するとともに、一般市民向けやインバウンド向けのPR活動を実施し、八代産量表の需要拡大を図る。 なお、製品の売上に対する利益の一部を「八代産量表の振興」のために販売元から寄付される仕組みを構築している。							

豪雨	事務事業名	農業次世代人材投資事業	会計区分		一般会計					
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03	
			所属課名		農林水産政策課					
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)									(単位:千円)	
事務事業の概要										
農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年就農者(次世代の人材)の確保が重要である。そのため、経営が不安定な就農初期段階の新規就農者に対して資金を交付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 経営開始直後の新規就農者に対して事業の要件を満たした場合に、年間150万円の交付金を交付(最長5年間)する。※本事業は、令和3年度で事業は終了しているが、令和3年度までの交付対象者に対して、事業完了年度(最長令和8年度)まで交付が続く。なお、令和4年度からは、新規就農者育成総合対策事業により、事業は実施されている。										
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額
				国県支出金		地方債		その他特定財源		一般財源
11,263		9,730		9,730		0		0		0
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞					
経営開始型 交付対象者：8経営体10人（個人：6,355 夫婦：3,375）					9,730 ○県支出金 農業次世代人材投資事業補助金（10/10） 9,730					
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 ● 4 市による実施(規模縮小) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)								
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		本事業は、令和3年度に終了となっているが、最長5年間交付できるものであることから、継続対象者に対して交付しているものである。農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するためには人材の確保が重要である。今後も継続対象者及び交付終了者の巡回及び営農指導等のフォローアップを行い、認定農業者へのステップアップももちろんのこと、地域の担い手として確保、育成を図る。								

豪雨	事務事業名	新規就農者育成総合対策事業	会計区分	一般会計				
			款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	03
			所属課名	農林水産政策課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)						(単位:千円)		
事務事業の概要								
農業従事者が減少する中、持続可能な力強い農業を実現するには、次世代を担う農業者(青年就農者)の確保が重要である。そのため、親元就農も対象として含んだ上で経営発展のための機械・施設の導入に対して、経営発展支援事業を交付し、また、経営が不安定な就農初期段階に対して経営開始資金を交付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 【経営発展支援】経営開始直後の認定新規就農者に対して事業の要件を満たした場合に、最大750万円の交付金を交付する。※夫婦で取り組む場合は1.5倍、経営開始資金を活用する場合は1/2。 【経営開始資金】経営開始直後の認定新規就農者に対して事業の要件を満たした場合に、年間150万円の交付金を交付(最長3年間)する。※夫婦で取り組む場合は1.5倍。								
令和6年度予算額	令和6年度決算額	左の財源				翌年度への繰越額	不用額	
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
30,870	22,500	22,500	0	0	0	0	8,370	
<主要な施策の概要>				<財源内訳>				
経営開始資金 交付対象者: 6経営体10人(個人: 3,000 夫婦: 4,500)				○県支出金 新規就農者育成総合対策事業補助金(10/10)				
経営発展支援事業 交付対象者: 2件				22,500				
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)						

豪雨	事務事業名	山村活性化支援対策事業	会計区分		一般会計				
款項目コード(款-項-目)			05	—	01	—	03		
所属課名			農林水産政策課						
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
国の農山漁村振興交付金を活用して、山村の地域資源を活用した所得・雇用の増大や、農業を軸とした地域コミュニティ機能の維持・強化等に取り組む団体に対して、その取組を円滑に実施できるよう、国からの交付金が交付されるまでの活動資金として、つなぎ資金を貸し付けるもの。									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国庫支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
17,456		9,956		0	0	9,956	0	0	7,500
＜主要な施策の概要＞						＜財源内訳＞			
農山漁村振興つなぎ資金貸付金 9,956 坂本町山村振興協議会 5,000 ふれあい泉山村活性化協議会 4,956						○その他特定財源 山村活性化支援対策事業貸付金返還金 9,956			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		農山漁村振興交付金は、特色ある地域資源の活用を通じた所得・雇用の増大などを図る取組を支援するものであり、中山間地域等における営農継続に向け、今後も実施していく必要がある。 令和7年度は、坂本町山村振興協議会・ふれあい泉山村活性化協議会・東陽農村RMO協議会に対して実施する。							

豪雨	事務事業名	スマート農業推進事業(地方創生)	会計区分		一般会計				
款項目コード(款-項-目)			05	—	01	—	03		
所属課名			農林水産政策課						
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
農業の担い手確保・育成、稼げる魅力ある農業の構築など、農業における様々な課題を解決するため、スマート農業技術による解決手法の検討及び実証を行う取組。(事業期間:令和4年度～令和6年度) 【調査研究・実証事業】事業の推進母体となる「スマート農業やつしろ☆未来創生会議」を設立するとともに、当会議内に若手農業者等で構成された課題解決のための作業部会「リビングラボ」を設置。「リビングラボ」において課題の抽出・整理を行い、解決手法の検討及び実証を進め、取組にて得られた成果を市内の農業者へ横展開する取組。 【その他の推進事業】農業者団体がスマート農業技術を学び、導入を検討する際の先進事例調査研究に係る支援を実施。また、農業者がスマート農業に対する理解を深めることを目的に、八代農業塾において「スマート農業特別講座」を実施。									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国庫支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
21,250		21,027		10,513	0	0	10,514	0	223
＜主要な施策の概要＞						＜財源内訳＞			
調査研究・実証事業 19,950 協議会負担金(スマート農業やつしろ☆未来創生会議) 19,950						○国庫支出金 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進)(1/2) 10,513			
その他の推進事業 1,077 スマート農業技術先進事例調査研究費補助金 77 事業主体:市内農業者団体(2団体) 事業内容:全国青年農業者会議への参加による先進事例調査等									
八代市担い手育成研修事業費補助金(八代農業塾) 1,000 事業主体:八代市担い手育成総合支援協議会 事業内容:スマート農業特別講座の実施(全3回)									
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) ● 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		3年間(令和4年度～令和6年度)取り組んだスマート農業推進プロジェクト(地方創生)を契機に設立された一般社団法人FamLab8において、これまで実施したスマート農業推進に係る取組が継続されることから、今年度以降は、当該法人と連携体制を構築するとともに、スマート農業の取組を市内農業者等へ横展開していく。 また、キーマンとなる担い手を確保・育成するために、特に若手・女性農業者の人材育成や先進事例調査研究等に対する支援を行う。							

豪雨					会計区分	一般会計		
	事務事業名	経営継承・発展支援事業			款項目コード(款-項-目)	05	—	01 — 03
				所属課名	農林水産政策課			
主要な施策の成果（決算審査における主要施策） （単位：千円）								
事務事業の概要								
将来にわたり地域の農地利用等を担う経営体の確保を目的として、地域農業の担い手である経営体の後継者が、経営継承後に当該経営の発展を図る取組を支援。加えて、地域農業の持続的な発展を促進するため、後継者による販路の開拓、新品種の導入、営農の省力化等の取組に対し、100万円を上限とし、国及び市町村がそれぞれ1/2以内を補助する支援を行う。 令和6年度は、補正予算により本事業を予算化し、実施体制の整備を行ったうえで事業を実施した。								
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源		翌年度への繰越額		不用額
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
1,000		1,000		0	0	500	500	0
<主要な施策の概要>					<財源内訳>			
経営継承・発展支援事業（1件）					1,000	○その他特定財源 経営継承・発展支援事業補助金		
						500		
今後の方向性 （該当欄を選択）		1 不要（廃止） 2 完了（終了） 3 民間実施 4 市による実施（規模縮小） ● 5 市による実施（現行どおり） 6 市による実施（規模拡充）						
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		令和6年度については、1次公募では、応募がなく、2次公募において、1件の応募があり、採択となった。今後は、地域農業の担い手である経営体を継承しうる後継者への情報提供及び手続きのフォローアップを行い、経営を発展させる取組を支援することにより、将来にわたって地域の農地利用等を担う経営体の確保、育成を図る。						

豪雨	事務事業名	下水汚泥肥料実証試験事業	会計区分	一般会計				
			款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	03
			所属課名	農業振興課				
主要な施策の成果 (決算審査における主要施策) (単位:千円)								
事務事業の概要 近年、下水汚泥を原料とした肥料の推進が進められており、国も新たな「バイオマス活用推進基本計画」の閣議決定において、下水汚泥などを含めた総合的なバイオマスの利用の推進を掲げている。汚泥肥料を普及させることで、肥料価格の高騰対策、化学肥料の低減による環境負荷の低減など、多くの効果が期待できるところであるが、下水由来の肥料ということで、農業者、一般消費者にとっても抵抗感が根強いいため、本市において汚泥肥料を用いた実証試験を実施し、安全性・有効性を実証することと、農業者、消費者の不安感を払しょくするもの。 ・八代市循環型肥料普及促進協議会への補助金 (使途) 残留農薬検査、土壌分析、圃場管理委託、その他事務費等								
令和6年度予算額	令和6年度決算額	左の財源				翌年度への繰越額	不用額	
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
2,059	1,154	0	0	1,144	10	0	905	
＜主要な施策の概要＞				＜財源内訳＞				
【ふるさと八代元気づくり応援基金対応分】 事業実施主体：八代市循環型肥料推進協議会 補助額 (基金充当) 1,144 総事業費：1,154 事業内容：下水汚泥肥料による実証試験				○その他特定財源 ふるさと八代元気づくり応援基金繰入金				
1,154				1,144				
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)						
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		下水汚泥肥料を試作し、令和5年度に露地野菜圃場、令和6年度に水稲圃場にて実証試験を行った。 水稲については、品質、収量とも慣行区と比較し同等の試験結果が得られたが、露地野菜については天候等の影響により、正確な試験結果が得られなかった。 令和7年度は露地野菜及び水稲圃場にて再度試験を実施し、使用に適した作物や施肥方法の検討を行う。						

豪雨	事務事業名	強い農業づくり支援事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03
			所属課名		農業振興課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
本市の強い農業づくりを推進するため、農畜産物の高品質・高付加価値化、低コスト化及び食品流通の効率化・合理化等、生産から出荷、販売までの取組を総合的に支援するもの。									
【支援内容】									
①共同利用施設等整備:乾燥調製施設、集出荷貯蔵施設、生産技術高度化施設(低コスト耐候性ハウス等)の整備 等									
②卸売市場施設整備:売場施設、貯蔵・保管施設、搬送施設、衛生施設の整備 等									
補助率:1/2以内									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
1, 713, 236		82, 285		82, 285	0	0	0	1, 283, 817	347, 134
<主要な施策の概要>						<財源内訳>			
【繰越分】						○県支出金			
補助額						82, 285			
事業実施主体:株式会社山田ファーム						強い農業づくり総合支援交付金 (10/10)			
総事業費:181,027 (事業者負担額:98,742)						82, 285			
事業内容:集出荷貯蔵施設の整備									
(繰越明許費)1,283,817									
補助額:788,482									
事業実施主体:八代地域農業業協同組合									
総事業費:1,734,662 (事業者負担額:946,180)									
事業内容:集出荷貯蔵施設の整備									
事業実施主体:R7角鋼管ハウス生産管理組合 他2事業者									
補助額:495,335									
総事業費:1,089,738 (事業者負担額:594,403)									
事業内容:低コスト耐候性ハウス									
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		産地の収益力強化や合理化を図る取組に必要な施設の整備・再編のための事業であることから、今後も農業者の要望を把握しながら、事業実施に向けた支援を継続していく。 集出荷貯蔵施設の活用は今年度からとなるため、事業成果等は現時点では測定できないが、事業実施主体にて適切な活用がなされている。							

豪雨	事務事業名	いぐさ・畳表生産体制強化支援対策事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03
			所属課名		農業振興課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
いぐさ産地の生産体制を強化し、産地の維持を図るため、いぐさ専用機械の導入及び機能強化の支援を行う。									
(1)専用機械導入支援事業 専用機械の整備に係る経費を支援									
・色彩選別機等の導入支援									
・QRコード挿入装置付き畳表織機の導入支援									
(2)専用機械機能強化支援事業 専用機械の機能強化に係る経費を支援									
・いぐさ乾燥機の機能強化支援									
・畳表織機の機能強化支援									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
5, 827		5, 253		5, 253	0	0	0	0	574
<主要な施策の概要>						<財源内訳>			
事業実施主体:農業者 5戸						○県支出金			
補助額						5, 253			
総事業費:10,511 (事業者負担金:5,258)						いぐさ・畳表生産体制強化支援対策事業補助金 (10/10)			
事業内容:畳表織機のオーバーホール及び機能強化						5, 253			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		畳表織機のオーバーホール及び機能強化を行ったことにより、畳表織機の延命化や畳表の品質向上等が図られ、い業経営の維持に寄与している。 今後の方向性としては、本事業を活用し、生産工程の機械化による省力化などを継続的に行うことにより、生産効率を向上させ、産地の維持を図る。また、修理費用に係る乾燥機や畳表織機のオーバーホール等を推進し、機械の長寿命化を図る。							

豪雨	事務事業名	産地生産基盤パワーアップ事業	会計区分		一般会計					
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	03	
			所属課名		農業振興課					
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)									(単位:千円)	
事務事業の概要										
水田・畑作・野菜・果樹等について「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者が高収益作物・栽培体系への転換を図るための取り組みを支援するもの。 【支援内容】 整備事業:乾燥調製施設、育苗施設、集出荷貯蔵施設等の導入 基金事業:リース方式による農業機械、資材等の導入 補助率:1/2以内										
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額
				国県支出金		地方債		その他特定財源		一般財源
411,806		363,956		363,956		0		0		0
<主要な施策の概要>						<財源内訳>				
【繰越分】						○県支出金				
事業実施主体:農事組合法人八協連						363,956				
補助額:363,956						産地生産基盤パワーアップ事業補助金(10/10)				
総事業費:801,460(事業者負担額:437,504)						363,956				
事業内容:集出荷貯蔵施設の整備										
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)								

豪雨		事務事業名		園芸・果樹振興対策事業		会計区分		一般会計	
						款項目コード(款-項-目)	05 — 01 — 04		
						所属課名	農業振興課		
主要な施策の成果（決算審査における主要施策）								(単位：千円)	
事務事業の概要									
園芸・果樹の生産振興に関する各種の取り組みを実施するもの。									
【事業内容】									
①トマト黄化葉巻病まん延防止のための地域取組に係る経費の一部補助及び啓発チラシの配布									
②有害鳥獣による農作物被害を防止するための防護柵設置に係る経費の一部補助 補助率：1/2（上限：一か所につき2万円【園場2箇所まで】）									
③晩白柚産地の維持・拡大及び晩白柚の品質向上に向けた取組に係る経費の一部補助 補助率：1/2（上限：圃場面積10アールまで）									
④各種生産振興協議会への負担金の支出 等									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	
				国県支出金		地方債		その他特定財源	
				一般財源					
4,607		3,561		0		0		2,289	
								1,272	
								0	
								1,046	
<主要な施策の概要>					<財源内訳>				
トマト黄化葉巻病対策啓発チラシ					492 ○ その他特定財源				
有害鳥獣防護柵設置事業					307 ふるさと八代元気づくり応援基金繰入金				
熊本県野菜振興協会負担金					230				
熊本県花き協会負担金					100				
八代地域果樹産地協議会負担金					101				
等									
【ふるさと八代元気づくり応援基金対応分】2,289									
トマト黄化葉巻病地域対策事業					2,096				
晩白柚生産支援事業					193				
今後の方向性		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施							
(該当欄を選択)		4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		トマト黄化葉巻病地域対策事業の活用等により、令和4～6年度のトマト黄化葉巻病の発生は平年以下となっている。トマト栽培は本市農業の基幹となるもので、トマト黄化葉巻病が蔓延した場合の農家への影響は非常に大きくなるため、蔓延防止の周知・啓発及び対策の継続が必要である。 晩白柚についても本市の特産物であることから、継続的に生産支援を実施しながら、産地の維持・拡大を図ることが必要である。							

豪雨	事務事業名	攻めの園芸生産対策事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	04
			所属課名		農業振興課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策) (単位:千円)									
事務事業の概要 園芸作物の生産力を強化し国内外との競争に打ち勝ち、気象災害に負けない産地づくりの構築を図るため、販売価格・生産量・出荷量の増大、生産経費の削減の取組を支援するもの。 【支援内容】 収量向上施設・機械、病虫害防除施設・機械、耐風性ハウスの導入等 補助率:1/3以内									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源		翌年度への繰越額	不用額		
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
22,945	10,329	10,329	0	0	0	0	12,616		
＜主要な施策の概要＞				＜財源内訳＞					
事業実施主体：八代地域農業協同組合園芸部会 補助額 総事業費：19,745（事業者負担金：13,762） 事業内容：谷自動換気施設の導入 補助額 総事業費：4,048（事業者負担金：2,822） 事業内容：自動内張開閉装置の導入 補助額 総事業費：5,062（事業者負担金：3,528） 事業内容：炭酸ガス発生装置の導入 補助額 総事業費：5,236（事業者負担金：3,650） 事業内容：養液灌水施設の導入				○県支出金 攻めの園芸緊急生産対策事業補助金（10/10）					
1 不要(廃止) 4 市による実施(規模縮小)				2 完了(終了) ● 5 市による実施(現行どおり) 3 民間実施 6 市による実施(規模拡充)					
今後の方向性 (該当欄を選択)				今後の方向性の理由、改革改善の取組等					
施設園芸を中心とした、農産物の販売価格の向上、生産・出荷量の増大、生産経費の削減への取り組みを進めるための事業であることから、今後も農業者の要望を把握しながら、事業実施に向けた支援を継続していく。 各施設は年度末にしゅん工し、施設の活用は今年度からとなるため、事業成果等は現時点では測定できないが、事業実施主体にて適切な活用がなされ、生産力強化や労働生産性の向上が図られている。									

豪雨	事務事業名	園芸産地における事業継続強化対策事業				会計区分 款項目コード(款-項-目)	一般会計 05 — 01 — 04		
						所属課名	農業振興課		
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)							(単位:千円)		
事務事業の概要 産地の生産部会等の単位で複数農業者による共同の事業継続計画(BCP)を策定し、計画に基づく事業の継続や非常時の早期復旧に必要な体制整備、BCPの実践に必要な技能習得、災害復旧の取組実証、ハウスの補強等の被害防止対策に資する取組を支援するもの。 【支援内容】 災害に備えたハウスの補強、防風ネットの設置、停電時の被害防止に必要な非常用電源や大雪によるハウス倒壊を防ぐ融雪装置等の導入等 補助率:1/2以内									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
1,730		1,690		1,690	0	0	0	0	40
<主要な施策の概要>						<財源内訳>			
事業実施主体：八代トマト生産管理組合 補助額 総事業費：3,718（事業者負担金：2,028） 事業内容：非常用電源の導入						○県支出金 園芸産地における事業継続強化対策事業費補助金（10/10）			
						1,690			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 4 市による実施(規模縮小) 2 完了(終了) ● 5 市による実施(現行どおり) 3 民間実施 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		自然災害発生に予め備え、災害に強い産地を形成するための取組に必要な機械等を導入する事業であることから、今後も農業者の要望を把握しながら、事業実施に向けた支援を継続していく。 令和6年度において導入された機械は、事業実施主体において適切な活用がなされている。							

豪雨	事務事業名	施設園芸産地緊急発展事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	04
			所属課名		農業振興課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
農家の減少や資材費等の高騰によりハウス整備が困難になっている状況から、施設園芸産地の発展を目指して、担い手が実施するハウス整備を支援するもの。									
【支援内容】									
中古ハウスの移設、ハウスの補修・補強、仕様変更等									
補助率:1/3以内									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額	
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
4,479		4,283		2,446	0	0	1,837	0	
＜主要な施策の概要＞				＜財源内訳＞					
事業実施主体:4事業主体				○県支出金					
補助額				4,283					
総事業費:14,305(事業者負担金:10,022)				施設園芸産地緊急発展事業費補助金(10/10)					
事業内容:中古ハウスの移設、補修補強				2,446					
※うち1事業者より概算払い後の事業取下げの申し出あり。									
令和7年度に補助金返還見込み。									
返還額 1,837									
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		中古ハウスの有効利用等により担い手へのハウスの集積・集約を図るための事業であることから、今後も農業者の要望を把握しながら、事業実施に向けた支援を継続していく。 令和6年度において整備された施設は、各事業実施主体において適切な活用がなされている。							

豪雨	事務事業名	施設園芸燃油価格高騰対策支援事業 (重点交付金)	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	04
			所属課名		農業振興課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)									
(単位:千円)									
事務事業の概要									
コロナ禍における燃油価格高騰に係る施設園芸農家の負担を軽減し、もって農業経営の安定に寄与するため、燃油代の一部を補助するもの。									
【支援内容】									
対象燃油									
令和5年9月1日から令和6年3月31日までに納品されたA重油及び灯油、LPガス									
補助額									
A重油、灯油:1リットルあたり5円 LPガス:1キログラムあたり5円									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額	
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
145,084		115,386		115,386	0	0	0	29,698	
＜主要な施策の概要＞				＜財源内訳＞					
【臨時交付金対応分】				【臨時交付金対応分】					
【繰越分】115,386				【繰越分】					
施設園芸燃油価格高騰対策支援事業補助金				115,344	○国庫支出金				
郵便料				42	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金				
申請者数:547人									
事業量:A重油 (23,017,538ℓ)									
灯油 (37,265ℓ)									
LPガス (13,912Kg)									
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) ● 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)							
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		今後も燃油の平均価格の推移や国・県の動向を注視していく。							

豪雨	事務事業名	食育推進育成事業	会計区分	一般会計					
			款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	05	
			所属課名	農林水産政策課					
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)							(単位:千円)		
事務事業の概要									
肥料高騰が続く中、SDGsの観点で「持続可能な農業」を目指すモデル事業として、自然農法に取り組む農家が有機材倍を行う食材を提供し、小学校の家庭科の授業での食育推進を図る。また、地域の農産物を活用した地域伝統食の製造体験、配布を通じ食文化への理解を深める。 持続可能な農業への取組み事例や地域農産物を活用した地域伝統食の製造体験等を通じ、「食」がもつ多様な役割の大切さを伝え、安全安心な地域農産物や食文化についての理解を深め地産地消の推進を図ることで地域農業の活性化を目指す。									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
50		50		0	0	0	50	0	0
<主要な施策の概要>					<財源内訳>				
食育推進育成事業 対象校：植柳小学校 内 容：有機栽培米の作付・収穫体験、試食及び学習の成果発表					50				
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)							

豪雨	事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業	会計区分	一般会計				
			款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	08
			所属課名	農地整備課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)						(単位:千円)		
事務事業の概要								
老朽化した農業水利施設(排水機場等)の機能を維持し、長寿命化を図るため、施設の整備補修を行うものである。 【負担割合】 第46期生まで:国30% 県30% 市30% 残:市10%。第47期生から:国50% 県20% 市30%(事業実施年度に負担) 助成を受けるには、市はこの事業に加入し、事業費の30%を5年間均等に積み立てる必要がある。(積み立てる金額を拠出金という) 第46期生までは、5年間のうちに整備補修を実施し、実施年度に90%(国30%、県30%、市30%)が交付され、残り10%を市が負担することになる。別途、事務費として事業費の3%を納入する。第47期生からは、原則加入年度に整備補修を実施し、実施年度に100%(国50%、県20%、市30%)が交付される。別途、事務費として事業費の3%と財政融資利息を納入する。事業費は200万円以上が対象である。								
令和6年度予算額	令和6年度決算額	左の財源				翌年度への繰越額	不用額	
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
37,327	17,229	0	0	10,630	6,599	20,097	10,630	
<主要な施策の概要>				<財源内訳>				
工事請負費				○その他特定財源				
八代南部排水機場2号過給機整備工事				土地改良施設維持管理適正化事業交付金				
砥原排水機場3号エンジン整備工事								
負担金補助及び交付金								
土地改良施設維持管理適正化事業拠出金								
(繰越明許費) 20,097								
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)						
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		排水機場は、農地の冠水被害だけでなく、市街地等を浸水被害から守る重要な施設であり、本事業はその排水機場のエンジンやポンプ等の整備補修を行うことによって、施設の長寿命化を図るものである。排水機場の中には、造成後30年を経過し老朽化が進んだものも多く、今後も適切な整備・補修を行っていく。						

豪雨	事務事業名	県営土地改良事業負担金事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	08
			所属課名		農地整備課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
県営土地改良事業による地方財政法、土地改良法及び海岸法に基づく地元負担金である。各事業の規定に応じて、大規模あるいは事業費が多額の場合は県営事業となり、市町村はその事業費に対してガイドラインに定めのある負担率(5～25%)の負担金を支出する。 【負担率】かんがい排水事業10%、経営体育成基盤整備事業10%、湛水防除事業13%、農地海岸保全事業5% 等 ※「平成28年熊本地震 八代市復旧・復興プラン」事務事業 県営事業負担金 経営体育成基盤整備事業 3地区(昭和、野崎、両出)、かんがい排水事業 2地区(古閑浜、津口・芝口)、湛水防除事業 1地区(金剛)、農地海岸保全事業 3地区(文政、金剛、八代海岸)									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源			翌年度への繰越額	不用額	
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
187,896		154,847		0	146,700	0	8,147	0	
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞				
県営土地改良事業負担金					○地方債				
経営体育成基盤整備事業 3地区(昭和、野崎、両出)					県営経営体育成基盤整備事業負担金 30,400				
県営かんがい排水事業 2地区(古閑浜、津口・芝口)					県営排水対策特別事業負担金 68,600				
県営海岸保全事業 3地区(文政、金剛、八代海岸)					県営海岸保全事業負担金 31,400				
県営湛水防除事業 1地区(金剛)					県営湛水防除事業負担金 16,300				

豪雨	事務事業名	水利施設管理強化事業	会計区分		一般会計					
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	08	
			所属課名		農地整備課					
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)									(単位:千円)	
事務事業の概要										
本事業は、土地改良区が管理する農業用水利施設の維持管理費のうち、多面的機能分及び管理の高度化分等について支援を行い、管理体制の強化を図る。 【事業内容】 水利施設管理強化事業(一般型):土地改良区が管理する農業用水利施設等の維持管理費のうち、多面的機能分及び管理の高度化分等について支援を行い、管理体制の強化を図る。〔負担割合:国50%、県20%、市30%〕 水利施設管理強化事業(省エネルギー化推進型):水利施設管理強化事業において、省エネルギー化推進計画に基づき、農業水利施設の省エネ化及びコスト削減に取り組む施設管理者(市・土地改良区)に対し、エネルギー価格高騰分の7割を支援する補助金。〔負担割合:国100%〕										
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額
				国県支出金		地方債		その他特定財源		一般財源
35,579		35,579		26,917		0		0		8,662
＜主要な施策の概要＞					＜財源内訳＞					
水利施設管理強化事業（一般型）補助金					34,884 ○県支出金					
水利施設管理強化事業（省エネルギー化推進型）補助金					695 熊本県農業農村整備事業補助金（1.9/10） 6,627 水利施設管理強化事業補助金（5.1/10・10/10） 20,290					
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)								
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		農業水利施設は、農業用水の供給、農業排水等の機能だけでなく、水資源の涵養や洪水防止等の多面的機能を有しており、近年の集中豪雨の激甚化・頻発化によって、果たす役割がますます重要になっていることから、施設管理者である土地改良区等への支援を継続して行い、多面的機能の適正な発揮を推進していく。								

豪雨	事務事業名	市内一円土地改良整備事業	会計区分		一般会計						
			款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	08		
			所属課名		農地整備課						
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)										(単位:千円)	
事務事業の概要											
主に各校区からの市内一円における排水路及び農道等の農業生産基盤に対する整備要望に対応するものであり、緊急性や必要性の観点と予算の動向を踏まえ整備箇所を抽出し工事等を行っている。											
排水路改修、道路改良・舗装工事、測量設計委託、排水路・農道等修繕、地元施工時の原材料支給、各団体等への事業負担金及び・補助金交付等。											
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額	
				国県支出金		地方債		その他特定財源		一般財源	
176,240		171,446		740		56,300		300		114,106	
2,400				2,394							
＜主要な施策の概要＞						＜財源内訳＞					
【現年分】169,001						【現年分】					
農業施設修繕（49件）						14,743 ○県支出金					
非補助土地改良融資事業測量設計委託（3件）L=983m						17,783 熊本県農業農村整備事業補助金（4/10）740					
排水路等測量設計委託（10件）L=1376m						13,616 ○地方債					
排水路改修工事（29件）L=967m						56,027 市内一円道路整備事業40,500					
道路・農道改良工事（8件）L=840m						36,762 団体営土地改良事業13,600					
原材料支給（36件）						7,850 ○その他特定財源					
団体営土地改良事業補助金（区営）						14,890 農業振興費寄附金300					
その他（消耗品、燃料費、重機使用料等）						7,330					
（繰越明許費） 2,400											
【繰越分】 2,445						【繰越分】					
団体営土地改良事業補助金（区営）						2,445 ○地方債					
						団体営土地改良事業2,200					
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)									
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		各校区要望に対し工事を実施しているが、要望の増加や突発案件等により十分な対応ができていない状況である。今後は、これまで以上に要望箇所の精査と緊急性・必要性等を精査しながら補助事業の活用を進め、効果的な事業推進を図る。									

[illegible]

豪雨	事務事業名	担い手育成総合支援事業	会計区分	一般会計				
			款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	10
			所属課名	農林水産政策課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)			(単位:千円)					
事務事業の概要								
地域の特性を活かした農業経営を確立するため、農業経営基盤強化法による認定農業者制度の普及・啓蒙を推進するとともに、農業経営、簿記、税務などの研修会を計画的に実施するため、八代市担い手育成総合支援協議会に対して活動費を助成する。 【通常運営分】(1)認定農業者の新規認定、再認定の推進 (2)認定農業者の経営改善支援、フォローアップの実施、研修会等の開催 (3)認定農業者の法人化の推進、研修会への参加等 (4)補助事業の実施、事業後のフォローアップ (5)各関係団体と連携 以上の事業を行うため活動費を助成。 【八代農業塾運営分】 令和6年度は、これまでの農業知識習得に必要な専門講師による講義を一部見直し、八代農業高校の教員を講師とした体験学習を取り入れたことにより、農業を体験し親しむ場として、着実に成果が上がっており、今後も継続して事業を実施する。								
令和6年度予算額	令和6年度決算額	左の財源				翌年度への繰越額	不用額	
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
2,800	2,462	1,042	0	250	1,170	0	338	
<主要な施策の概要>				<財源内訳>				
担い手育成総合支援事業				○県支出金				
八代市担い手育成総合支援協議会補助金				元氣な認定農業者づくり事業補助金 (2/3)				
元氣な認定農業者づくり事業				○その他特定財源				
				ふるさと八代元気づくり応援基金繰入金				
【ふるさと八代元気づくり応援基金対応分】250								
八代市担い手育成総合支援協議会補助金				250				
担い手育成研修事業 (八代農業塾)								
今後の方向性 (該当欄を選択)	1 不要(廃止)							

[illegible]

豪雨	事務事業名	森林経営管理事業	会計区分		一般会計							
			款項目コード(款-項-目)		05	—	02	—	02			
			所屬課名		水産林務課							
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)											(単位:千円)	
事務事業の概要												
林業事業者の経営安定と森林資源の適切な管理を両立するため、森林所有者自らが適切に経営・管理できない森林については、市町村が仲介役となり、森林所有者と林業事業者をつなぐ新たな森林経営管理制度の下、森林所有者の経営意欲低下や所有者不明森林の増加など森林資源が適切に管理されていないといった課題を解決し森林の経営管理を持続的に行い森林保全に努める。 森林環境譲与税を財源として、森林所有者への経営管理に関する意向調査を概ね15年程度で完了させる。また、林業に関わる人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する事業を行う。												
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額		
				国県支出金		地方債		その他特定財源		一般財源		
56,487		43,913		0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0		0		848		43,065		
				0								

豪雨	事務事業名	有害鳥獣被害対策事業	会計区分		一般会計					
			款項目コード(款-項-目)	05	—	02	—	02		
			所属課名	水産林務課						
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)							(単位:千円)			
事務事業の概要										
有害鳥獣による農林産物の被害防止及び市民生活の安全を確保する。 八代市鳥獣被害防止計画に基づき、平成24年度から有害鳥獣の捕獲等を行う鳥獣被害対策実施隊を設置している。 実施隊員は、市の非常勤職員として位置付け、命令に基づいて公務として出勤し、緊急時にも対応するなど効果的に活動している。今後も経過ウ的な捕獲数の向上を目指し、農林産物の被害軽減を図る。 また、防護対策として電気柵等の設置費用の助成を行っている。										
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額	
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
55,126		41,118		20,720	0	0	20,398	0	14,008	
<主要な施策の概要>					<財源内訳>					
鳥獣被害対策実施隊員報酬(160人)					2,711	○県支出金				
有害鳥獣緊急捕獲事業委託料(4地区)					3,128	特定鳥獣適正管理事業費補助金(1/5)				1,721
有害鳥獣捕獲対策助成金(ハンター保険102名、傭船料等)					1,308	鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金(定額)				18,170
林産物被害対策事業補助金(1件)					12	鳥獣保護及び管理並びに狩猟適正化に関する法律等				829
有害鳥獣緊急捕獲事業補助金(シカ2,511頭等)					33,897	に基づく事務(権限移譲交付金)				
消耗品費等					62					
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)								

豪雨					会計区分	一般会計	
事務事業名		森林整備事業			款項目コード(款-項-目)	05 — 02 — 02	
					所属課名	水産林務課	
主要な施策の成果（決算審査における主要施策）							(単位：千円)
事務事業の概要							
森林環境保全整備事業：国、県の補助に上乗せして八代森林組合等の林業事業者が行う植林や下刈り等に助成をする。 作業道原材料支給：森林所有者で管理している作業道に対して、舗装用の生コンを支給する。 施設設備修繕：市で管理している森林整備のための作業道等の修繕を行う。 倒木被害防止事前伐採事業：九州電力送配電線が行う、台風や大雨等による倒木によって、停電や道路が通行不能になる恐れがある立木を事前に伐採する経費の半額を負担する。							
令和6年度予算額	令和6年度決算額	左の財源				翌年度への繰越額	不用額
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
76,167	73,705	0	0	0	73,705	0	2,462
<主要な施策の概要>					<財源内訳>		
森林環境保全整備事業補助金 事業主体：八代森林組合・熊本南部林業事業者協同組合 事業内容：造林事業343.9ha 作業道等施設設備修繕（7件） 倒木被害防止事前伐採事業負担金 作業道等原材料費（3件） 二中山作業道 他					68,595 3,026 944 1,140		
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 4 市による実施(規模縮小) 2 完了(終了) ● 5 市による実施(現行どおり) 3 民間実施 6 市による実施(規模拡充)					
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		伐採後の再造林が追いついていないところも見られるので、引き続き嵩上げ補助を行い森林整備促進に繋げていく。					

豪雨	事務事業名	市内一円林道新設改良事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05	—	02	—	04
			所属課名		水産林務課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
森林整備促進及び集落の生活道や非常時の迂回路機能強化のために林道舗装事業を行う。 緑資源幹線林道菊池人吉線開設に係る賦課金及び受益者負担金を支出する。									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
21,282		21,055		0	17,300	0	3,755	0	227
<主要な施策の概要>					<財源内訳>				
林道渋利瀬高線舗装工事外1件					13,806	○地方債			
林道渋利瀬高線外1路線舗装工事測量設計業務委託					3,575	林道舗装事業			
緑資源幹線林道事業賦課金（菊池人吉線）					203	17,300			
緑資源幹線林道事業補助金（菊池人吉線）					2,471				
協議会負担金（熊本県治山林道協会）					1,000				
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)							

豪雨	事務事業名	道整備交付金事業	会計区分		一般会計						
			款項目コード(款-項-目)		05	—	02	—	04		
			所属課名		水産林務課						
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)										(単位:千円)	
事務事業の概要											
「「やつしろ・いつき」豊かな地域資源を活かした個性きらめく地域再生計画」に基づき林道深水線など5路線の改良、舗装事業を行うものである。											
現行計画:令和4年度～令和8年度、総事業費:535,000千円(林道改良10路線、林道舗装4路線)											
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額	
				国県支出金		地方債		その他特定財源		一般財源	
94,811		94,383		49,961		41,300		0		3,122	
＜主要な施策の概要＞						＜財源内訳＞					
【通常分】65,574 林道深水線舗装工事外4件 林道木々子日光線舗装工事測量設計業務委託外1件 消耗品費等						【通常分】 ○県支出金 道整備交付金(31/100・34/100・51/100) 森林・林業・木材産業基盤整備交付金(9/100) ○地方債 道整備交付金事業					
【繰越分】28,809 林道深水線改良工事外2件						【繰越分】 ○県支出金 道整備交付金(51/100) 森林・林業・木材産業基盤整備交付金(9/100) ○地方債 道整備交付金事業					
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 4 市による実施(規模縮小) 2 完了(終了) ● 5 市による実施(現行どおり) 3 民間実施 6 市による実施(規模拡充)									
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		本年度は舗装事業(3路線)及び改良事業(5路線)を実施し、車両通行の安全性と森林施業の作業性の向上が図られた(県支出金49,961千円、地方債41,300千円) 内閣府認定の地域再生計画に基づき、令和4年度から令和8年度までの5ヵ年計画の中で林道14路線の舗装及び改良を実施中であり、順調に進捗している。 今回の事業で実施できていない林道の舗装及び改良についても、次期計画において確実に実施し、林業の振興に努める。									

豪雨	事務事業名	漁場環境保全事業	会計区分	一般会計				
			款項目コード(款-項-目)	05	—	03	—	02
			所属課名	水産林務課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)						(単位:千円)		
事務事業の概要								
水産物の漁獲量の減少や魚価の低迷等により、本市の水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。また、平成20年にピークだった本市のアサリ漁獲量は、頻発する大雨や近年深刻化するアサリへの被害等の複合的な要因により大幅に減少している。 本事業では、水産振興アドバイザーによるアサリ資源回復のための漁場調査を行い、さらなる資源増大への対応策へつなげる。 協議会事業では、八代市沿岸漁業振興協議会が行う食魚普及の推進や作業省力化試験を、また八代市水産振興協議会が行う藻場造成・魚礁設置及び水産資源の維持・回復に向けた放流事業等を支援する。 また、各漁協が実施する漁場清掃や航路標識設置に対する補助を行う。								
令和6年度予算額	令和6年度決算額	左の財源				翌年度への繰越額	不用額	
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
13,619	13,571	0	0	0	13,571	0	48	
＜主要な施策の概要＞				＜財源内訳＞				
水産振興アドバイザー業務委託				275				
協議会等負担金（6協議会）				11,820				
熊本県漁港漁場協会会則に基づく負担金				30				
航路標識設置事業補助金（2漁協）				837				
内水面清掃補助金（3漁協）				609				
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)						

豪雨	事務事業名	環境生態系保全事業	会計区分		一般会計						
			款項目コード(款-項-目)		05	—	03	—	02		
			所属課名		水産林務課						
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)										(単位:千円)	
事務事業の概要											
熊本県水産多面的機能発揮対策協議会に対して、負担金(事業費の15%)を支出するとともに、鏡町アサリ活動組織、二見海岸の干潟を守る会、金剛資源管理保全振興会、大八資源管理振興会が取り組む水産多面的機能発揮対策事業の活動を支援する。											
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額	
				国県支出金		地方債		その他特定財源		一般財源	
4,662		4,134		0		0		0		4,134	
								0		528	
<主要な施策の概要>						<財源内訳>					
環境生態系保全対策事業負担金											
活動組織(4組織)						4,134					
①鏡町アサリ活動組織 2,829											
②二見海岸の干潟を守る会 119											
③金剛資源管理保全振興会 210											
④大八資源管理振興会 976											
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)									

豪雨	事務事業名	栽培漁業振興事業	会計区分		一般会計				
			款項目コード(款-項-目)		05	—	03	—	02
			所属課名		水産林務課				
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)								(単位:千円)	
事務事業の概要									
継続的な水産資源の確保を目的として、つくり育てる栽培漁業を推進するため、稚魚及び稚エビ等(ヒラメ、ガザミ、ウナギ、クルマエビ等)の計画的な放流及び八代海沿岸部の関係漁協及び市町による共同放流事業を推進するとともに、アサリ保護用網の設置によりアサリ資源の回復・増大を図る。									
八代海エビ類共同放流協議会(放流実績種:クルマエビ、クマエビ)									
熊本県栽培漁業地域展開協議会(放流実績種:マダイ、ヒラメ、ガザミ)									
内水面においては、内水面漁協が実施する種苗放流事業に対し補助を行う。									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国庫支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
12,457		12,203		0	0	0	12,203	0	254
<主要な施策の概要>						<財源内訳>			
放流用稚魚購入									
ヒラメ(87,500尾)				3,465					
タイワンガザミ(159,091尾)				700					
ウナギ(34kg)				297					
生残試験用アサリ(45kg)				107					
アサリ母貝場造成試験用被覆網(150枚)				1,434					
熊本県栽培漁業地域展開協議会負担金				980					
八代海エビ類共同放流協議会負担金				2,597					
五家荘やまめ中間育成施設雨漏り修繕				26					
八代市内水面種苗放流事業補助金(5漁協)				2,597					
南部内水面漁協(ウナギ)193									
球磨川漁協(アユ)1,800									
郡築内水面漁協(ウナギ、フナ、ボラ)65									
昭和漁協(フナ、ウナギ)34									
氷川漁協(アユ、ウナギ、モクズガニ、ヤマメ)505									
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止)							

[illegible]

豪雨	事務事業名	アサリ漁業V字回復事業	会計区分		一般会計					
			款項目コード(款-項-目)		05	—	03	—	02	
			所属課名		水産林務課					
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)									(単位:千円)	
事務事業の概要										
平成20年の1,200トンピークに、資源量が激減している本市水産業の要であるアサリを対象に、「八代うまかアサリ研究会」が、「デジタル技術を活用し「漁獲量の拡大」と「漁業収益の向上」を図る取組みを行う3カ年プロジェクト。2年目である令和6年度は、前年度に策定した実証事業計画に基づき各実証試験を行う。										
①漁業収益の確保プロジェクト実証試験 垂下式育成の実証試験及び適地診断に向けた環境データ収集、産地別アサリの特性の明確化、八代産アサリのプロモーション、ブランド化に向けた試験販売										
②漁獲量の拡大プロジェクト実証試験 漁獲作業の省力化実証										
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額
				国県支出金		地方債		その他特定財源		一般財源
15,290		15,186		7,593		0		0		7,593
								0		104
<主要な施策の概要>						<財源内訳>				
協議会等負担金						○国庫支出金				
八代うまかアサリ研究会負担金						デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進)(1/2)				
15,186						7,593				
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)								
今後の方向性の理由、 改革改善の取組等		今年度の実証試験の結果から得られた八代産アサリの強みや特徴等、他産地と比較した際の優位性を全面にPRし、さらなるプロモーションやブランド化を進めることで、消費者から選ばれる八代産アサリの地位を確立するため、事業最終年度となる令和7年度には、前年度の課題を踏まえたさらなる実証試験を進めることで漁業収益の向上を図る。併せて、漁業省力化による漁獲量の拡大を目指す。また、取組みの横展開と漁協及び漁業者等によるスムーズな自走化を図る。								

豪雨	事務事業名	林道施設災害復旧事業				会計区分	一般会計		
豪						款項目コード(款-項-目)	10	—	01 — 01
						所属課名	水産林務課		
主要な施策の成果(決算審査における主要施策)							(単位:千円)		
事務事業の概要									
【豪雨災害分】令和2年7月の梅雨前線豪雨・【通常分】令和4年台風14号・令和6年7月の梅雨前線豪雨・令和6年9月の豪雨により被災した林道施設の災害復旧を行うもの。									
事業期間:災害発生時に随時実施									
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額	不用額
				国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源		
897,606		429,966		387,078	26,100	0	16,788	428,378	39,262
<主要な施策の概要>						<財源内訳>			
【通常分】190,407						【通常分】			
【現年分】112,307						【現年分】			
修繕料(9件)、測量設計委託(4件)						県支出金 林道施設災害復旧費補助金(9.31/10、9.91/10) 85,106			
災害復旧工事(6件)						地方債 林道施設災害復旧事業 18,200			
(繰越明許費)125,298						【繰越分】			
【繰越分】78,100						県支出金 林道施設災害復旧費補助金(9.7/10、9.91/10) 74,277			
災害復旧工事(4件)						地方債 林道施設災害復旧事業 1,500			
【豪雨災害分】239,559						【豪雨災害分】			
【現年分】69,906						【現年分】			
測量設計委託(4件)						県支出金 林道施設災害復旧費補助金(9.7/10、9.96/10) 61,517			
災害復旧工事(10件)						地方債 林道施設災害復旧事業 3,100			
消耗品費等						【繰越分】			
(繰越明許費)272,095						県支出金 林道施設災害復旧費補助金(9.7/10、9.96/10) 101,314			
【繰越分】103,176						地方債 林道施設災害復旧事業 1,600			
災害復旧工事(7件)						【事故繰越分】			
(事故繰越)30,985						県支出金 林道施設災害復旧費補助金(9.7/10) 64,482			
【事故繰越分】66,477						地方債 林道施設災害復旧事業 1,700			
災害復旧工事(4件)						【過年度分】			
						県支出金 林道施設災害復旧費補助金(9.7/10) 382			
今後の方向性		1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施 (該当欄を選択) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 4 市による実施(規模縮小)							
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		市道等の復旧が完了し、林道の復旧に着手できる箇所が増えてきたため、今後も着手可能な箇所から随時発注を行い、早期復旧に努める。							

[illegible]

豪雨	事務事業名	久連子財産区一般管理事業	会計区分		久連子財産区特別会計					
			款項目コード(款-項-目)		01 — 01 — 01					
			所屬課名		水産林務課					
主要な施策の成果（決算審査における主要施策）									(単位:千円)	
事務事業の概要										
久連子財産区所有財産管理のため管理会を開催し、財産の適正な管理運営を行う。										
令和6年度予算額		令和6年度決算額		左の財源				翌年度への繰越額		不用額
				国県支出金		地方債		繰入金		事業収入
151		89		0		0		83		6
<主要な施策の概要>				<財源内訳>						
久連子財産区一般管理事業				○その他特定財源						
財産区管理会開催時委員報酬（3人）				久連子財産区基金繰入金						
施設電気料（民舞伝習館、防犯灯14基）				83						
施設設備修繕（防犯灯1基）				18						
積立金				28						
				37						
				6						
今後の方向性				1 不要(廃止) 2 完了(終了) 3 民間実施						
(該当欄を選択)				4 市による実施(規模縮小) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)						
今後の方向性の理由、改革改善の取組等				財産区有林のうち、分取契約を結んでいる林分については、契約相手方の森林管理署と今後の伐採計画等について協議を行い適切に管理していく必要がある。						

[illegible]